

# Unlimited

～無限の可能性～

令和5年度2学年 学年通信  
2023年 5月1日発行 5月号  
発行：福島県立原町高等学校第2学年



## 進路選択の掟



2組副担任の菅原です。今回はより納得のいく進路選択をするために、私が大切にしてきた2つの掟を話そうと思います。学校選択というよりも職業選択寄りの内容になるので、これから先それぞれのタイミングで思い出してもらえたら嬉しいです。

### 進路選択の掟・其の一 「自己分析をとことん深めろ！」

自分は何が得意で何が苦手なのか。どんな場面で想像以上の結果やパフォーマンスが発揮できるのか。幸せを感じる時や、うまく行かないと感じる時はどんな場面か。問うべき項目は他にも色々ありますが、とにかくとことん自分自身に向き合うことが、より満足度の高い進路選択に繋がると私は信じています。実は、私はもともと教員志望ではなく、大学時代は民間企業の就活に備えて活動していました。とことん自己分析や他己分析を重ねたところ、自分にはいくつかの特徴があることが分かったんです。それが、「誰にも見られないところで誰かのために」、「形ないものを通して」、「感動を生み出す」、この3点でした。これを基に、就活を進める上で自分自身につけたキャッチコピーは「愚直なエンターテイナー」。自己分析の結果との相性が良く、昔から強い関心を抱いてもいた観光産業を中心に、他の業界も含め幅広く就活を進めました。何か違う...と感じて自分から選考を辞退したところもありましたし、不採用通知をいただいたところもありました。数ヶ月の就活期を終え、最終的に複数の企業から内定をいただきました。色々な業界の企業を受けたにも関わらず、内定を頂けた全ての企業が「観光・航空産業」でした。「愚直なエンターテイナー」として「形ないもの」で社会を動かそうと就活に臨んだ私にとって、こうした業界との縁は偶然なんかじゃなかったと確信しています。思い返せば、内定した企業との最終面接は、どれも信じられないほど心躍るものでした。選ばれる側のビクビクした気持ちなんか一つもなく、夢を語るのが本当に楽しかった記憶があります。最終的に教職を選んだわけですが、相通ずるものがあると思っています。これからも、形ないものを通して誰かの心を動かせるような人材になろうと思います。進路決定をするにあたっては、色々な人や媒体を通して様々な情報を見聞きすると思います。自分の適性や夢に蓋をして、地位や名声だけを追い求めるのが正解かと思悩むこともあるでしょう。ただ、納得のいく人生を送るためには、自分自身にとことん向き合うことが不可欠です。自分が自分にならなければ、誰も自分にはなってくれませんよ。

### 進路選択の掟・其の二 「自分磨きを継続せよ！」

其の一で述べたように、深い自己分析は満足度の高い進路実現には欠かせないものです。ただ、現段階での自分らしさだけでは、未知の世界を開拓するには不十分。今以上に自分を磨き続けることもまた重要です。自己分析を重ねながら、私自身旅行業務や外国語関係の資格試験の勉強に一心不乱に取り組みました。アルバイトで稼いだお金を叩いて、自分の目で世界を見つめようと旅に出てもみました。「海外のリアル」を通して「日本のリアル」にも気付くことができたので、こうした側面にも焦点を当て色々なセミナーに足を運んだりもしましたね。国の「光(良いところ)を観る・観せる」のが一般的な「観光」の在り方ですが、光に隠れた影への理解もとことん深め、唯一無二の存在になれるように努めました。就活でも、そして教職について今でも、少し違う角度から価値提供ができる人材になれたように思います。自分磨きには時間もお金も根気も必要ですが、必ず将来の自分を救ってくれる時が来ます。今の皆さんも十分に魅力的ですが、学業や部活動、さらにはボランティア活動や資格取得にも果敢に取り組み、とことん自己を磨いてほしいです。きっと新たな自分に出会えるはずですよ。

(2年2組 副担任 菅原 大基)



## 《5月の主な行事》

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1日(月)～8日(45分授業)面接週間    | 25日(木) 壮行会/避難訓練    |
| 2日(火) 7校時カット           | 26日(金) 共通テスト模試～27日 |
| 9日(火) 尿検査/P.T.A第1回合同会議 | 29日(月) いじめ調査/教育実習  |
| 10日(水) 登校指導～12日        | 30日(火) 内科検診        |
| 16日(火) ⑦自転車点検          | 31日(水) 登校指導～1日     |
| 20日(土) 考査前学習会          | 教育実習生との座談会         |
| 22日(月) 中間考査～25日        |                    |



## ～夢を見つけるために 令和5年度東京大学学部入学式 祝辞より～

現在、課題研究を進めています。一部では自分の探究したいことがわからず、テーマが決められない人もいるように見受けられます。なぜ決められないのか。いきなり授業の話になりますが、論理国語で『いつもそばには本があった』という文章の中にはプラトンの言葉を借りて「略・・・知らないものを探究するということもありえないだろう。なぜならその場合は、何を探究すべきかということも知らないはずだから」という文章がありました。つまり、何をテーマにしたら良いか「わからない」という言葉は、そのことについて「何も知らない」からなのかもしれません。それは、卒業後の進路の進み方にも言えることで、「大学には行きたいけれど、将来、何をしたいかわからない」ということと一致しているのではないのでしょうか。では、どうすれば良いのか。ヒントになる言葉が今年の東京大学の入学式の祝辞の中にありましたので掲載しておきます。

もう一つお伝えしたいのは、夢は、探し続けて行動し続ける人しか見つけることはできないということです。夢が見つけれないというのは、ほとんどすべての人が抱え続ける悩みですが、夢は、待っていれば突然降ってくるものではありません。探し続けて、行動してみ、その中で少しづつ「彫刻」のように形作っていくものだと思います。周りに流されず、自分の興味のままに、探し続けてください。

(グローバルファンド 保健システム及びパンテミック対策部長 馬淵 俊介さん)

探究活動の先に、10年後の自分の姿が思い描けるかもしれません。また、その活動がきっかけで、卒業後の進路がより色濃く見えてくるようになるかもしれません。前回の学年通信でも発信しましたが、今年、多くのことにチャレンジをし、自分の「知っていること」を増やすために勇気をもって行動してみてください。



## ～英語外部試験のススメ～

近年、英語の外部試験のスコアを大学入試で活用する大学が増えてきています。そのことに伴い、本校でも英語検定試験の受験を推奨しているところです。つい先日、第1回目の受験の申込みが締め切られました。今回、2学年では約30名程度の生徒がチャレンジします。英語の外部試験利用について、東洋大学の入試部長は朝日新聞EduAの取材の中で「外部試験を利用する受験生は、高校時代に英語の4技能を高める努力をしており、そういう努力ができる学生を取りたいです。外部試験利用入試は、高校時代に英語のコミュニケーションを鍛えてきてほしいという大学からのメッセージでもあります。」と言っています。今年度、学校で実施される機会は残り1回です。今回、都合が合わずに受験できなかった人も含め、準2級以上を取得できるように考えてみてください。



## ～**予告** 5月11日(木)ビブリオバトル春の陣開催決定!!～

昨年も実施しましたが、第1回目ビブリオバトルを開催します。今回の選定する本は新書でなくてもかまいません。皆さんの興味のあるものを読んで、昨年度よりパワーアップした紹介をしてください!!